



議会だより

息を合わせて

親子で餅つき
この親子の紹介は16P

第117号

かわさき

平成27年2月1日発行
福岡県川崎町

中田原区子供育成会 餅つき

12月
定例会議

議会の決断、政治家の倫理を遵守 2
6人の議員が登壇 ～一般質問～ 7
もっと知りたい委員会レポート 13

今年度の議会だよりの表紙は、〈汗〉がテーマです。

頑張るみなさんの輝く汗の写真のご応募をお待ちしています。

川崎町役場 議会事務局 ご持参または郵送下さい
[お問い合わせ] 議会事務局 ☎72-3000 (内線318・319)

議会の決断、政治家の倫理を遵守

議員2名に辞職勧告決議案可決

加重収賄事件で逮捕された掛橋要一議員と、社会福祉協議会々長在任中にその運営に問題があったと指摘された大谷春清議員に対し、議会にて辞職勧告決議案が提出され、掛橋議員の案件は賛成多数(反対2)、大谷議員の案件は全会一致で可決され辞職の勧告がなされました。

(決議の賛否結果は、6 ページを参照下さい)

掛橋要一議員に対する辞職勧告決議・要旨

〔提出議員－樋口秀隆議員〕

昨年9月に掛橋議員が加重収賄の容疑で逮捕拘留されてもう3ヶ月(12月議会現在)になります。

このことは、当町制定の「政治倫理条例」に抵触する状況という事です。

「条例」には、町民全体の代表者として品位と名誉を損なうような一切の行為を慎み、その職務に関して町工事等の請負契約、物品納入契約に関して特定業者に有利な取り計らいをしない、とされています。

議員は、政治倫理に反する疑惑をもたれたときは、自ら潔い態度をもって疑惑の解明に当たるとともにその責任を明らかにしなければならない、とあります。

以上の理由をもって、掛橋要一議員に対する議員の辞職勧告を決議します。

大谷春清議員に対する辞職勧告決議・要旨

〔提出議員－中村内広議員〕

平成23年に社会福祉協議会の会長に就任した大谷春清議員は、その後の3年余の運営において、次のような政治倫理上の問題があったとされました。

①予算執行上において渉外費の運用や事業の発注が不適切、施設の利用契約において水光熱費に897万円ほどの超過負担を発生させ損害を与えた。

②職員採用と人事において私的な情実をもって行った。

③社会福祉協議会の経費を使った渉外費の表書きに大谷議員の名前を記したことは公職選挙法に抵触する恐れがある。

以上の理由をもって、大谷春清議員に対する議員の辞職勧告を決議します。

緊急動議・町長への給与支給留保否決

加重収賄事件等で逮捕され、5ヶ月間(12月議会現在)拘留の小田幸男町長に、これまで住民感情に考慮して保留されていた給与468万円を12月末に支払うという報告が町からあり、これを受けて議員から引き続き留保の要望案が緊急動議として提出されました。討論採決の末、賛成者少数(賛成5・反対10)となり否決されました。

(決議の賛否結果は、6 ページを参照下さい)

緊急動議提出・要旨

〔提出議員－樋口秀隆議員〕

本町の「特別職給与条例」では、失職していない限り生活給としての給与は支給せざるを得ないとしていますが、「町民の代表たる地位に対する対価」と考えれば長期間その実態がないままという現状と、加重収賄での逮捕拘留というその事態に陥った原因を考慮すると、法的結論が出るまでは留保を継続するということが社会通念上の住民の感覚であり権利、利益であると考えます。

議会は9月議会で小田町長の辞職勧告を決議してお

り、その経緯を以ってしても給与支給を議会として止めるべきではないか、確かに「給与条例」には考慮すべきであるが、極めて前例のない案件でもあり裁判をしてでも今後の先例を作る意味はあると考えます。

以上の点を理由をとして、小田町長への給与支給留保の継続を要望します。

〔討論・反対要旨－繁永英樹議員〕

既に執行部は5ヶ月間、先駆けて留保の取り組みをしています。議会としても住民感情を受けて辞職勧告という議決をしており、これ以上本人の生活給に対してまで制限を加えるのはいかがなものでしょうか。

社会福祉協議会「損害に関する件」「公選法違反の件」町は3月議会までに対処

予算上と倫理上の不明瞭、不具合問題を委員会で調査報告

予算決算常任委員会は議会からの付託を受け、「社会福祉協議会の予算執行に関する件」について小委員会を作り7回にわたって調査を行いました。

社会福祉協議会は、本町における善意の府であり象徴でもあり、その存在意義は「人が人らしく生活する。それを支える団体、組織である。」とされていますが、その組織内と業務執行上において起こった数々の事案を調査する過程で、多くの不明瞭な点、町や町住民に対しての信頼を損ない利益を損なったと思われる事、等が浮かび上がり、そしてその責任が大谷春清議員(前協議会々長)にあると認定しました。

よって、委員会は辞職勧告を要請し、その後議会は町に調査を要請しました。

〔報告総旨〕

付託された件については、「予算執行及び経理上の事項・それに関する損害」、「職員の採用と人事処置に関する事項」、「政治倫理上の規範に関する事項」、「公職選挙法への抵触に関する事項」の4項目に付いて調査を行いました。

調査のまとめとして、1. 町行政の管理、監視機能が十分に働いていなかった。2. 前社会福祉協議会々長である大谷春清議員が、法人運営にあたってのその殆んどの案件について協議、検討、決裁機関である「理事会」や「評議委員会」にかけずに、当協議会を私物化した処断を行ったことが多くの不具合を発生させた。この2点がこの度の事案の元凶であったとしました。

〔予算執行及び経理上の事項・それに関する損害〕

諸事業発注における業者の選定や入札、契約事務において大谷前会長の処断が、本来社会福祉協議会の「理事会」や「評議委員会」に付し正当な手順を踏むべきところを殆んどの案件で省き、独善的に決定していったことがうかがわれました。

特に渉外費の執行については、その項目と金額について社会通念上の許容範囲を著しく越えているとしました。

よって、総予算の80パーセント程の補助金を交付している川崎町は、その管理指導が行き届かなかった、という責任に対して大いに反省し、厳に再発防止に努めるとともに、必要な処置をとるよう要請しました。

調査内容の抜粋は次のようなものでした。

- 発注時の手続きが前会長と付き合いの深い一部業者に偏っている。
入札や見積もりで町内業者を入れずに実施、競争原理が働かないような選定をした。
- ボイラーの追増加など効果が見込めない不必要なことをした。
- 祝儀や香典、助成金等については、その内容と金額

について行き過ぎである。それ以前は年間3万程度であったが、その後の3年の不適切とされた合計金額は80万5130円になることが確認され、これは以前の10倍程となる。

(4)渉外費の中に、施設除霊のための「お布施代」として2万円の支出があったが、これは政教分離の原則からして認められるものではない。

(5)興業主と契約した使用料は月に10万円であったが、正規に換算すると月に60万円から75万円となる、結果として月間の水光熱費は毎月69万円ほど増加しており、この総額約897万円(13ヶ月分)は損害額とする。

〔職員の採用と人事処置に関する事項〕

新職員採用において、前会長に関係の深い人物を優先させ、また、時間外の超過勤務が平成25年度において1161時間と大幅に増加しており、不適切不明瞭な処理をしている。現在は月4時間ほどの超過勤務であるが差し支えは出ていない。

よって、人事の刷新も含んだ処置を早急に採ることを要望しました。

〔政治倫理上の規範に関する事項〕

大谷前会長が入札業者の指名に関わったことや、人事に関わったことは、いずれも政治倫理条例に違反する恐れが大いにある。

よって「政治倫理条例」上の規範と「議会基本条例」の遵守という項に照らし、大谷議員に対し「辞職勧告」を行うよう要望しました。

〔公職選挙法への抵触に関する事項〕

大谷前会長が支出した祝儀や香典、助成金等について、その表書きに「町議会議員大谷春清」を記していることから公職選挙法に抵触すると思われる。

よって、町選挙管理委員会は速やかにこの事実の確認をし、「公職選挙法違反」について調査を行い、必要な処置をとるよう要望しました。

補正 予算



主な歳出

- 人事院勧告に伴う給与改定及び人事異動による **972万円増**
- 前年度自立支援給付事業及び障害児施設給付事業に係る国県補助金返還 **553万円増**
- 前年度保育士等処遇改善臨時特例事業費国県補助金返還 **1431万円増**
- 田川、川崎清掃センター土地借地料 **128万円増**
- 田川郡東部環境衛生施設組合負担金 **1582万円増**
- 農地台帳システム改修委託料 **297万円増**
- 中田原地区サギ対策補助金（中田原地区はサギによるフン、鳴声等の被害があるため） **40万円増**
- 櫛毛地区林地災害復旧工事費 **200万円増**

※金額については、千円以下を四捨五入しています。

地方独立行政法人 川崎町立病院 評価委員会報告

1 全体評価（S、A、B、C、Dの5段階評価）

- ①大項目1の「住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項」はB評価で中期計画をおおむね達成できた
- ②大項目2の「業務運営の改善及び効率化に関する事項」はC評価で中期計画達成にやや遅れがみられた
- ③財務内容では、町繰入金を計画より5000万円減額するとともに、4428万8千円の黒字を計上した

2 主な取組や特色ある取組

- ①医療の質の向上のため医療機器更新と整備を実施した
- ②入院個室トイレの改善を実施した
- ③町繰入金の減額と黒字を達成するとともに、建設改良積立金を積み立てた

3 意見指摘等

- ①欠員職員補充を全員正職員採用としているが、全国的に懸念される人口減など、将来の病院経営を見据えた職員雇用形態を検討する必要がある
- ②公営企業型・非公務員型である地方独立行政法人としての真の独立医療機関となるよう、更なる病院経営努力を求める
- ③今後の医療機器整備にあたっては、診断料加算点数だけでなく人件費や保守料等の費用や専門医の有無等を含めた総合的な判断すること
- ④建物管理について計画的なメンテナンスや改修計画をたてること
- ⑤病院運営や経営について、外部専門有識者などの意見を取り入れる必要がある

条例の制定

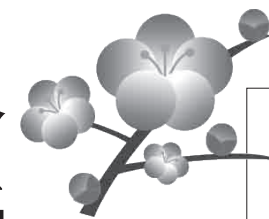
保護者が子育てについての第一義的責任を有するとの基本認識のもとに、学校教育・保育、地域の子ども・子育て支援を総合的に推進するため、平成24年8月「子ども・子育て関連3法」が可決・成立し交付されました。



これに伴い川崎町でも条例の制定を行いました。

- ・川崎町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する条例
- ・川崎町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例
- ・川崎町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する条例

川崎町 教育委員会 委員の再任



提案理由

川崎町教育委員会委員尾田延弘氏が平成26年12月18日で任期満了になるため、引き続き任命することについて、議会の同意を求めるものです。

審議結果

川崎町教育委員会委員の任命については、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第4条第1項の規定により、議会の同意を求め12月5日の本会議で、満場一致で同意されました。

今後、教育委員におかれましては、更に教育現場に訪問する機会を増やす等、学校教育の実情の把握に努めていただき、学校・PTA・家庭・地域等関係者や関係機関との情報交換や連携を密にし、教育課題を共有し課題の解決に向けて、迅速かつ確かな指導と対策を講ずることを期待するものです。

請 願

ウイルス性肝炎患者 に対する医療費助成 の拡充を求める 意見書の提出

○請 願 者：直方市感田261-3
全国B型肝炎訴訟九州原告団
副代表 松田 実

○紹介議員：千葉加代子 瓜野 かをり

ウイルス性肝炎から肝硬変・肝癌に進行した場合のかかる医療費の助成制度の創設と、身体障害者福祉法上の肝臓機能障害による認定基準を緩和し、患者の実態に応じた認定制度にすることで、全会一致で採択されました。

豊州改良住宅 いよいよ着工



豊州団地が平成26年度より工事が行われ、新しく建替えられます。

1. 契約の目的

平成26年・27年度（継続費）社会資本整備総合交付金事業
豊州改良住宅改善共同住宅A号棟建築主体工事

2. 契約の方法

一般競争入札

3. 契約金額

273,164,400円

4. 契約の相手方

田川市大字伊田3957番地
株式会社菅野建設 代表取締役 菅野親平



平成26年度 第6回川崎町議会(10月会議)

議案一覧と賛否結果

議案番号	案 件 名	賛否の結果															
		小 松	谷 口	有 田	西 山	千 葉	樋 口	千 住	大 谷	櫻 井	掛 木	繁 橋	北 永	瓜 代	中 野	伊 藤	
報告第9号	川崎町新型インフルエンザ等行動計画の一部修正について	報告のため採決はありませんでした															
議案第17号	工事請負契約の締結について(平成26・27年度(継続費)豊州改良住宅改善共同住宅A号棟建築主体工事)	(可決) 簡易表決															
議案第18号	平成26年度川崎町一般会計補正予算(第3号)について	(可決) 簡易表決															

平成26年度 第7回川崎町議会(11月会議)

議案一覧と賛否結果

議案番号	案 件 名	賛否の結果													
		小 松	谷 口	有 田	西 山	千 葉	樋 口	大 住	櫻 井	奈 木	掛 野	繁 橋	北 永	瓜 代	伊 藤
議案第19号	平成26年度川崎町一般会計補正予算(第4号)について	(可決) 簡易表決													

平成26年度 第8回川崎町議会(12月定例会議)

議案一覽と賛否結果

議案番号	案 件 名	賛否の結果															
		小松	谷口	有田	西山	千葉	樋口	千住	大谷	櫻井	奈木	掛橋	繁永	北代	瓜野	中村	伊藤
発議第3号	大谷春清議員に対する辞職勧告決議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議第4号	掛橋要一議員に対する辞職勧告決議について	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議第5号	小田幸男町長への給与支給の留保の要望について	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
報告第10号	専決処分の報告について(川崎町ひとり親家庭等医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例)	報告のため採決はありませんでした															
報告第11号	専決処分の報告について(川崎町重度障害者医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例)	報告のため採決はありませんでした															
報告第12号	専決処分の報告について(川崎町営住宅設置及び管理条例の一部を改正する条例)	報告のため採決はありませんでした															
報告第13号	地方独立行政法人川崎町立病院の平成25年度に係る業務の実績に関する評価について	報告のため採決はありませんでした															
議案第20号	川崎町固定資産評価員の選任について	(同意) 簡易表決															
議案第21号	川崎町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	(可決) 簡易表決															
議案第22号	川崎町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定について	(可決) 簡易表決															
議案第23号	川崎町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	(可決) 簡易表決															
議案第24号	川崎町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	(可決) 簡易表決															
議案第25号	平成26年度川崎町一般会計補正予算(第5号)について	(可決) 簡易表決															
議案第26号	平成26年度川崎町学校給食センター特別会計補正予算(第3号)について	(可決) 簡易表決															
議案第27号	平成26年度川崎町住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算(第3号)について	(可決) 簡易表決															
議案第28号	平成26年度川崎町国民健康保険事業勘定特別会計補正予算(第4号)について	(可決) 簡易表決															
議案第29号	平成26年度川崎町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)について	(可決) 簡易表決															
議案第30号	平成26年度川崎町水道事業会計補正予算(第1号)について	(可決) 簡易表決															
議案第31号	川崎町教育委員会委員の任命について	(同意) 簡易表決															
請願第5号	ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充に関する請願書について	採 択															

賛否表の表示は、○賛成、●反対、㊦欠席、㊧退席、㊨除斥じょしせきとなっています。
 ※簡易表決とは…あらかじめ議員全員の賛成が見込まれる場合に、議長が賛成者の起立を求めず「異議ありませんか」と諮ることにより可否を問う採決方法です。
 ※除斥とは…利害関係のある議員を、その議案の審議に参与させないことです。

一般質問

一般質問とは、定例会議において、各議員が住民の代表として、行政全般にわたり町当局の考え方や疑問をたずねることです。

町政を問う!!



問 原発^{ゼロ}の推進(メガソーラーの設置)

答 新設の設置予定はありません

議員 原発の推進に対応してメガソーラーや風力発電等について町独自の考えがありますか。

副町長 九州電力が技術的な問題により新規借り入れ契約をしない方針をきめておりますので、新設のメガソーラーの予定はありません。

**問 池尻小学校と
池尻中学校の改築予定は**

答 大規模改修工事で

議員 池尻小学校は2回改築が行われています。昭和26年と昭和57年で、特に老朽化が進んで外部から見るとひびが入っています。

池尻中学校は昭和31年と昭和



▲現在の池尻小学校

54年に改築が行われていますが、経年劣化が生じています。中学校は山の方にありますので、冬期になると暗くなるのが早いので、女子生徒の保護者から街の方に移転してほしいとの希望もあります。

副町長 池尻小学校、中学校ともに、校舎改築補助条件に該当しないため、老朽化校舎補事業である、大規模改修事業を考えています。

**問 川崎浄水場の改修
工事の終了予定は**

【答】 平成31年度完成を目途
に事業を進めたい

議員 本町では施設の老朽化による漏水が多いようである。

が、今年度は川崎浄水場の耐震調査を行い、平成31年度までに、大規模な改修工事を終わらせる予定であると、また現状の進捗状況は。

副町長 平成27年度は造成と地質調査、浄水場施設工事を着工し、平成31年度完成を目途に事業を進めたい。

配水管の布設替等については、
予算は過疎債などを利用しながら、
布設替を遂次行います。

問 国民健康保険の 累積赤字の解消は

答 平成29年度までに
解決をしたい

議員 国民健康保険を平成29年度までに、福岡県広域連合で運営するようであるが、7億150万円赤字がありますが、一般会計からの繰り入れで何年で終わりますか。

副町長 平成29年度までに解消しなければなりません。



問 改正される地方教育行政の周知は

答 広報誌やホームページを利用する

議員 1948年、教育が政治に左右された戦前の反省から、政治権力が直接関与できないよう作られた法律の一部が、2015年4月から一部改正されます。総合教育会議を設置するようになりますが、本町での設置の有無と構成メンバーを教えてください。

教育長 新制度のもと、どの自治体も首長と教育委員会が協議調整することにより、両者が教育施策の方向性を共有し、一致して執行できるよう総合教育会議を設置する予定です。メンバーは、教育委員会と首長です。

議員 会議の透明化として、原則として会議の議事録を作成し、ホームページ等を活用して公表することが強く求められています。本町での周知等は考えていますか。

教育長 ホームページ、広報での周知と、総合教育会議についても議事録等を作成し、公表したいと思います。

傍聴についても考えていきます。
議員 首長と教育長との関係はどうなりますか。

教育長 決して部下ではなく、首長が教育長に職務命令を発することはできないようになっております。

議員 執行事項の決定は総合教育会議で調整されるのですか。また、本町の土曜授業の実態を教えてください。

教育長 詳細な執行事項は、従来通り教育委員会で行います。土曜授業は、1学期に1回どの学校も実施するようになっています。

問 いじめ防止基本方針の策定は

答 策定したいと考えています

議員 地方公共団体はいじめ防止基本方針を進捗し、基本的な方針を定めることになっています。学校いじめ防止基本方針も策定するようになっていますが、本町では策定されていますか。

教育長 4月以降、大綱に沿った本町のいじめ防止基本方針を策定したいと考えています。学校についてはそういった方針をされていると思います。

議員 インターネットやライン等を通じて行われるいじめも防止法に含まれていますが、これらに対する対策は取られていますか。

教育長 学校のPTAの研修会等で、まず保護者が理解するよう努めているところです。今後も講師を招いて弊害等を生徒に講演していきます。

問 子どもの貧困率は

答 本町では把握していない

議員 本町の就学援助の認定基準と対象者の数を教えてください。

教育長 12月1日現在で要保護児童生徒数の割合は22.8%、主要保護は23.7%で合計46.5%が何らかの支援を受けております。

議員 支援対象者の保護者にどのような方法で周知していますか。

教育長 取り立てて行っていません。

議員 本当は受けられるのに、受けてない家庭があります。周知をしていただきたいのと、自治体間にある医療費援助についても対象年齢の引き上げを検討していただきたい。

社会福祉課長 医療費の関係で、予算等からみめますので、もう少し検討させていただきたい。

問 不登校の支援方法は

答 不登校をなくすよう努めている

議員 現在、指導が必要な児童生徒の数と対策を教えてください。

教務課長 10世帯18人です。対策は教育委員会、子育て支援センターで推進しています。

議員 学校だけで対応できないケースが多いので、地域のネットワーク作りが必要ではないですか。

教務課長 今後さらに検討していきたいです。



問 政治倫理条例強化で汚職防止を

答 三役、議員の倫理観に頼る

議員 政治倫理条例が機能せず町長、議員が逮捕されて司法の判断を受けるなど言語道断との批判がありますが、①条例制定の背景、②条例遵守をどう図るか、③副町長自身が政治倫理審査会に臨む気持ちは無いか、④小田町長後援会に関わっていた井塚副町長、松本教育長の道義的責任についての見解を求めます。

副町長 ①当初の条例設置背景は知りません。平成10年6月に条例の全部が改正されて今の内容になっています。②政治倫理を守るには、ひとえに三役、議員の高い倫理観、強い意志に頼るしかないと思います。③私も職員も警察に事情聴取されていますが、嫌疑があつてのことではないので政倫審には臨みません。④私は小田町長後援会の事務所開きで司会はしましたが、その後は体調を崩して後援会とは関わっておりません。

教育長 小田町長後援会々長だったのは事実ですが、現在は教育長として全力で職務を全うする

ことが責任を果たす事だと考えています。

問 いじめ・暴力排除の機運づくりを

答 暴迫大会は年度内に実施したい

議員 ①町内の中学で発生した暴力事件の概要とその抑止対策、②何等かの事情で町外に通っている児童生徒の現状、③暴迫大会延期理由と年度内実施について説明を求めます。

教育長 ①給食時間に食べ物の投げ合いとなり、担任の注意に暴力で向かい、更に職員室の扉を破壊。それで警察に逮捕されました。ルールを守らせる指導は毅然とやり、問題の生徒には寄り添って話を聞く姿勢が肝要と考えています。②町外に通っている生徒は91名います。

副町長 ③9月28日に暴迫大会を計画しましたが、町長が逮捕されたので警察と協議し、中止で

はなく延期としました。実施時期は今後検討します。なるべく年度内にしたい。

問 職員採用、人事管理は適切か

答 職員年齢構成の歪み解消を計る

議員 かつて職員採用は控目でした。小田町長就任以来活発化し、採用が募集人数より多いと聞いていますが、理由は。23年度～26年度までの採用実績はどうなっていますか。

副町長 平成12年度から19年度まで財政健全化で職員採用しませんでしたので、職員の年齢構成に偏りが生じています。20年度から職員採用を再開し、これの解消に努めています。

総務課長 採用実績は、23年度は募集5、1次合格68、最終合格11。24年度は募集8、1次合格47、最終合格13。25年度は募集9、1次合格45、最終合格13。26年度は募集6、1次合格48で最終合格は12月に発表。募集年齢幅は18歳から35歳です。

※以上の質疑の他に「貧困と雇用の問題」「産業振興」などについて質疑をおこなっていますが、紙面の都合で割愛しました。詳細については議事録を閲覧下さい。



▲川崎町庁舎



問 給与条例遵守と住民の利益 どちらを重視するのか

答 どちらが重いかは比較できない

議員 小田町長逮捕以来5ヶ月近くになろうとしており不在の状態が続いています。

その不在の理由が刑事被告人として拘留されているというものであり決して許されることではないと考えます。

よって実態として首長の地位にないと思われる小田町長に給料を支払うことは自治体として執るべきことではないと思います。

「給与法からみて支払うべき」との見解ではありますが、社会通念上の住民感覚に対応し、利益を守るため支給留保に踏み切るべきと考えるのがいかがですか。

副町長 金額は、給料5ヶ月分353万円と期末手当116万円で合計469万円を12月22日に支払います。

又、住民の感覚や利益と給与条例のいずれが重たいかということに関しては比較は出来ないと考えています。

行政としては支払いを停止すると言う根拠が法的には見当たりません。

問 行政、議会の正常運営を確かなものにすべく、基本理念の習熟を

答 共通認識を深めていくことを考えたい

議員 これまでの不祥事案は「自治法」と「政治倫理条例」、

「議会基本条例」などの法条例と、「監査請求手続」、「情報公開条例」などの、いわば「防犯装置」が十分に働かず、機能していなかったことがその一因であると考えています。

今後それらのことを、執行部、職員、議員の全てが詳しく理解し熟知し共通認識を共有することが肝要だと思います。

副町長 議会と行政は立場と解釈が違う但也有りますが共通認識を持てるよう意見交換などを深め、十分研究する必要があると思います。

問 レストラン穀×極の食材の地産地消率は

答 地元が35パーセント、地元以外が65パーセント

議員 レストラン穀×極の設立目的の柱は農業振興で、地産地消を促進することが国県の補助金認可の条件であったはずで

又、町内で営業している外食産業等への事業圧迫が起きているのではないか、公営の事業、産業は他の同業者との連携を図り相乗効果をねらい、その育成を促すことが肝要ではないですか。

町内で営業している外食産業等への事業圧迫があるようでは本末転倒である。

副町長 地産地消の割合は地元が35パーセント、地元以外が65パーセントです。仕入れ価格の問題などあり大きな検討課題ですが、可能な限り逆転して増やしていきたいと思います。

又、地元の同業者と相乗効果が図れる連携を考えたいと思います。



▲穀×極のバイキング



問 女性役職員の登用を

答 積極的に考える

議員 政府は、2020年に指導的地位に占める女性の割合を30%にするとの方針を示しました。

男女平等を掲げる日本にとって、女性の存在は大変重要と考えています。女性は子供を産み、家庭を守るだけでは決してありません。この女性登用については、都道府県のみならず、全国市町村においても女性の割合を引き上げるべきだと考えています。

これから先の社会情勢を考えると、女性の登用が大変重要と考えています。女性の活躍で地域の活性化が進み、地域に密着したきめ細かな政策ができると思います。

人口が減少するなか、女性の活躍が重要と考えていますが、副町長の考えをお尋ねします。また、本町の女性職員の割合をお尋ねします。

副町長 政府の役職等に占める割合については、202030という数値目標が示されています。現在の少子化社会の中では、女性の力と労働力が大変重要と考えています。男女共同参画社会の推進には、今後、本町においても積極的な役職員の登用が重要な課題と考えています。

現在本町の職員は、総数247名で、女性職員が92名です。また、役職別では、課長職で30人中2人

でパーセントでは6.7%。係長職では57人中16人で28.1%です。さらに一般職では160人中74名で46.2%となっています。

今後、男女共同参画社会の推進という意味において、役職等の女性の登用について、積極的に考えてまいります。

問 振り込め詐欺の対策を

答 啓発活動を推進する

議員 全国の警視庁が把握した振り込め詐欺の被害額は約293億9000円と新聞報道がありました。被害にあった方の調査報告書で4つの手口が明かにされました。手口では、依然オレオレ詐欺が最多で、次に架空請求による被害が急増したのが特徴です。

中でも、高齢者の架空請求による手口が急増し、多額の被害を受けています。架空請求は、電話での未公開株や社債の購入手口が急増しています。

また、振り込め詐欺は年末に多発し、手口も多様化して、これまでの銀行振り込みから宅配便や郵便、さらに自宅まで直接現金を受け取りに来るケース也多発しています。

行政としても広報等で注意喚起はしていますが、地域全体で見守ることも重要と考えていますが、

副町長の考えをお尋ねします。

副町長 国も対策を強化しています。が、本町も架空請求などを含めた対策として、啓発チラシや消費者カレンダーの全戸配布や女性、小学生を対象に弁護士等による学習会、無料相談を実施しています。

近年、消費者相談も増え、専門的な知識が必要な被害等については、田川郡消費者センター等へ連絡し相談員のアドバイス等も実施しています。その他、CDの作成やDVDの作成等で今後も啓発活動を推進します。



▲啓発カレンダー



問 本町独自の特産品を

答 良質な品々を川崎ブランドとして発信したい

議員 本町には現在農産物の特産品はないと思っておりますが、何か独自の特産品を作る計画がありますか。

副町長 現在の主な特産物は、酢、ブドウ、梨、苺、ハチミツ等が挙げられると思います。しかし、新たな特産物を生み出すには、生産者、行政、民間業者、農協等にも協力を得なければなりません。良質な品々を川崎ブランドとして、町内外に発信できるよう、努力していきたいです。

問 防護柵の進捗状況は

答 要件に合致した箇所は100%設置

議員 イノシシ、シカ等の防護柵について、現在までの進捗状況と、いつまでこの事業があるのかおたずねします。

副町長 要件に合致した箇所については、100%設置してきましたが、単独での設置が必要な場

合が若干残っています。
又、本事業につきましては、平成27年度で終了する予定です。



▲安真木地区の防護柵

町内かわらばん

しょうはちまん

正八幡神社・由来



正八幡は田原の氏神様で、以前は西田原の原、楠の森の地にありました。

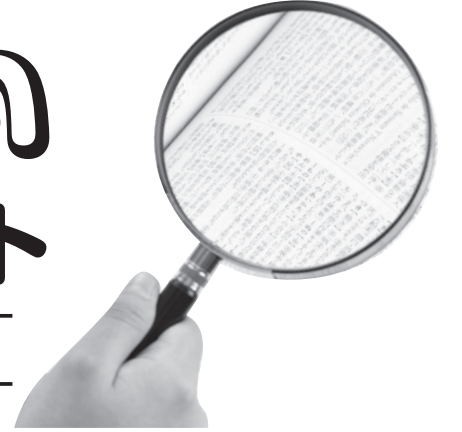
貞観18年(876)に建てられ、弘和3年(1383)に現在地に移転再建されたという記録が残っています。

正八幡神社には「杖楽」という鎮西八郎為朝由来の福岡県指定無形民俗文化財が伝わっており、田原地区で保存会の皆さんが神幸祭に奉納しています。

◀正八幡神社

もっと知りたい 委員会レポート

委員会の活動状況を報告します



過疎化、少子高齢化の課題解消に向けた先進事例を視察

総務常任委員会

▼視察した藤崎町役場



9月24日にリンゴ「ふじ」の生誕地である青森県藤崎町において、過疎化の進展に伴い、長期間放置された空き家の倒壊等による近隣への被害を防止することを目的とした「空き家等の適正管理に関する取り組みについて」を視察しました。また、9月25日には、昨年の10月に議会改革の研修で本町議会を訪れた青森県六戸町において、町外からの定住を条件に、民間住宅の家賃補助や新築住宅の建設費補助を行うことにより、青森県内の市町村で唯一人口が増えたという「定住促進に関する取り組みについて」を視察いたしました。

今回の研修では、当町の大きな課題である過疎化、少子高齢化を起因とする諸問題の解決に向けた取り組みについて、参考となる事例を調査することができました。

事件の再発防止に向け委員会審議の充実を確認

事件後の入札状況の説明では、事件以後、25件の入札を実施し、そのうち10件の入札で抽選により業者を決定しており、広く町外まで参加業者を募る一般競争入札においても2件の抽選があったそうで

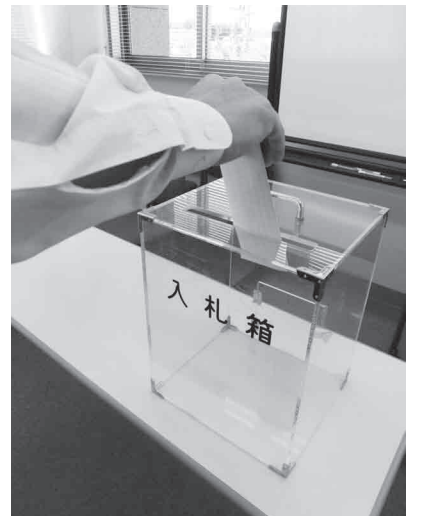
す。

今回の事件を受け、今後の指名委員会のあり方としては、さらに公平性、透明性、競争性の確保を図るため、委員会審議の充実に努めること、事件の再発防止に向け取り組むことを確認したとのことでした。

また、入札改革については、誰もが参加でき、競争性の高く不正行為の防止しやすい一般競争入札の拡大や、地元業者の保護育成を考慮した条件付一般競争入札を積極的に導入して、不正のおこりにくい、透明性の高い入札制度の構築に努めたいとの報告がされています。

質疑の中で、現在、入札参加業者名を事前に公表していることについて、競争性が弱まることにつながるのではないかという委員からの指摘に対し、福岡県が実施しているのを参考に、住民への透明性や情報公開の必要性を考慮し、公表をしているという回答がありました。

今回の調査では、談合事件を受け工事等の入札事務の調査を行いました。一部業者に指名が偏っていたこと、工事等の入札における落札率が高かったことについて、もっと早く気付いていれば、今回の事件を未然に防げたのではないかと反省を踏まえ、町の監視機関としての議会の役割を果たせるよう議員活動に取り組んでいくことを委員会で確認しました。





生まれかわる愛光園

平成26年度、27度の2カ年計画で、老朽化した愛光園老人ホームの移転改築工事が実施されます。

平成26年度は、付帯施設等解体工事と合併浄化槽等の設置工事が施行されるということで、10月末に工事説明を受けました。そこで、既存の現地と施行箇所を確認するため、10月5日に現地調査を行いました。

現在の2人部屋から個室に変更し、部屋数も25部屋から50部屋に増設し、全館バリアフリーで改築されることを確認しました。

既存の園舎で運営しながら新園舎を建築し、完成後に転居する予定となっているそうです。

委員会からは、新園舎の屋根へ太陽光発電パネル設置や、断熱強化ガラス等の設置を検討してみたいと申し添えました。



▲老朽化した愛光園

民生文教常任委員会



▲愛光園での聞きとり調査

川中オープンスクール

川崎中学のオープンスクールに現在の様子を現地調査に行きました。

担当課長、係長がよく足を運んでおられるようですが、教育委員さんが実態を知らないのが懸念されましたので、今回の調査となりました。

どの学年も静かに授業は行われていましたが、教室に入らない生徒が数名、また各クラス数名の生徒が授業には加わらず、先生たちも教室にいただけで良しとするかのように何の注意もせず淡々としている現状が残念でした。

廊下には先生が待機をし、生徒を校舎外に出さないように対応をしていましたが、今の先生方の処置の限度を理解している生徒たちが強引に外出することもあるようです。

私たちも議員としては、制度などに縛られ限界がありますので、地域のおじさん、おばさんとして協力を惜しまないので、PTAや地域連携を強化していきましょうと先生方に持ち掛けました。

子供たちにチャンスと夢をあきらめさせない環境づくりが必要だと痛感しました。

ごみ処理施設に関する調査特別委員会

次に今後の計画について、ごみ焼却場の発注仕様書が、どのメーカーも入札に参加できる内容になっているかを審査するための発注仕様書確認委員会や、各社から提出された設計書を審査するための見積設計図書審査委員会を設立するようにしたため、ごみ焼却場の工事着工が当初の計画より遅れ、平成27年度末ぐらいになるとの説明がありました。



町道不動田代線の最終地点を確認

▼不動田代線の現地調査



町道不動田代線は、道幅も狭く険しい道で、現在ほとんど利用する方もいない状況です。

11月14日に行き止まり地点まで行き、現地にて農商観光課より説明を受けました。

本委員会の中で、添田町と一緒に林道事業を要望してはどうかという意見もありましたが、林道を計画するには、地元地権者の熱い要望と地域全体の理解が必要であり、木を切り出す為に道がどうしても必要である等の目的が求められます。

現在のところ、地元地権者からの要望は上がって来ていない状況であるが、今後も担当課と検討して行くこととしました。

宮若市での荒廃竹林対策を視察

11月26日、荒廃竹林対策について、宮若市で竹の伐採や破碎機で竹をチップにする作業を現地で視察し

て来ました。

切り出された竹の多くは、パルプ材として使用され、上部の枝部分は、チップ状にして利用したり、土壌菌と混ぜ田んぼの肥料として試験的に使用されているようです。

また、下部の幹部分は地域イベント等に利用しているそうです。

実際に破碎機を使用している現場では、かなり大きな音をする為、住宅などが近くにある場所での使用は難しいようでした。

本町にも荒廃した竹林が多くみられます。今後、竹を有効利用するためにも事例の調査等をおこなって行くこととしました。



▲竹破碎機の作業風景

第7回

議会報告会を開催します

日時：2月14日(土) 午後7時より

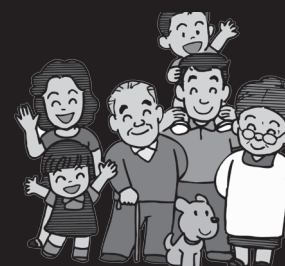
場所：コミュニティセンター1階 多目的ホール

議会報告会では、まず町民のみなさまに議会の活動状況について報告し、その後みなさんと意見交換を行うことにしています。

閉会は午後8時30分を予定しています。

今回は、議会だより第116号(11月1日発行)と第117号(2月1日発行)にそって活動状況報告を行います。

多くのみなさまのご参加をお待ちしております。



ごみ焼却場の工事は27年度末に着工

生活環境影響調査(環境アセス)の結果に対する意見として、9月11日の提出期限までに34名、82件の意見書が提出されました。

町では、提出された意見を大きく4つの項目に分類し、意見に対する町の見解を載せたものを10月1日から10月31日までの1カ月間閲覧に付しており、委員にも同じものが資料として配布され、内容の説明を受けました。

今回の主人公



中田原行政区
手嶋 信一郎さん

今回の表紙は、中田原区子供育成会の餅つき行事です。この餅つきは、毎年恒例で行われています。

そのなかでも、親子仲良く息ぴったりの姿が印象的な手嶋さん親子に取材をさせていただきました。

親子で餅つきに参加して、どうでしたか

前日の準備から片付けまで、たくさんの方に協力して頂き、感謝しています。寒い中での餅つきですが、良い運動になりました。

今年の抱負は

昨年は仕事中にケガをしてしまったので、健康で過ごせたらと思います。

中田原区子供育成会では、色々な行事があります。小・中学生の1人でも多くの参加を待っています。

今後の議会に期待することは

今以上に、お年寄りや子供達も安心して暮らせる町になるよう、取り組んで欲しいです。

今後も子供育成会の盛んな活動に期待しています。

忙しい中での、
ご協力ありがとうございました。

議会日誌

10月	22日	第5回川崎町議会(10月会議)
	29日	第6回川崎町議会(10月会議)
	9・29日	全員協議会
	20・27日	議会運営委員会
	常任委員会	
	3日	総務委員会
	9日	総務委員会
	9日	民生文教委員会
	28日	総務委員会
	29日	民生文教委員会
11月	29日	建設産業委員会
	29日	予算決算委員会
	特別委員会	
	10日	議会だより編集委員会
	17日	議会だより編集委員会
	22日	議会だより編集委員会
	研修視察来町・議員研修等	
	7日	委員長・副委員長研修
	27日	第7回川崎町議会(11月会議)
	25・27日	議会運営委員会
12月	常任委員会	
	5日	民生文教委員会
	7日	予算決算小委員会
	11日	予算決算小委員会
	14日	建設産業委員会
	14日	予算決算小委員会
	17日	予算決算小委員会
	18日	総務委員会
	19日	予算決算小委員会
	21日	建設産業委員会
12月	21日	予算決算小委員会
	25日	予算決算小委員会
	26日	建設産業委員会
	27日	民生文教委員会
	27日	予算決算委員会
	28日	予算決算小委員会
	特別委員会	
	19日	ごみ処理施設に関する調査特別委員会
	研修視察来町・議員研修等	
	7日	田川郡町村議会議員研修会
12月	20日	議会広報研修会
	第8回川崎町議会(12月定例会議)	
	2日	本会議
	3日	委員会
	4日	議会運営委員会
	5日	本会議
	9日	予算決算委員会(補正予算)
	10日	本会議(一般質問)
	11日	本会議
	常任委員会	
12月	18日	民生文教委員会
	特別委員会	
	5日	議会だより編集委員会

編集後記

編集することについて、委員の頭痛の「たね」は、単語の遣い方です。
白黒をつける。黒白をつける。同じ漢字でも逆になると意味が変わってきます。
白黒は「びっくりして目を白黒した」と言う表現をよく聞きますが、「びっくりして目を黒白した」とは言いません。しかしながら「この訴えについては黒白をはっきりとする」と言う表現になると、意味は「白黒」とは全く異なってきます。これと同様に「平和」と「和平」も意味が異なります。その場に適した表現や相手を傷つけない表現に私共広報委員も日々研鑽(けんさん)すべきと思いました。

● 委員	● 委員	● 委員	● 委員	● 副委員長	● 委員長	● 議長	● 見月 勸
掛橋	千葉	千住	樋口	有田	小松		
	加						
要	代	幹	秀	浩	孝		
一	子	雄	隆	二	一		